

シラバス
170E1020 統計入門Ⅱ (2014 年度 第 2 学期)
新潟大学経済学部

担当教員 北條 雅一
研究室 人文社会科学系 F 棟 461
E-mail hojo@econ.niigata-u.ac.jp
Website <http://www.econ.niigata-u.ac.jp/~hojo/>

履修登録における注意：

- 平成 20-23 年度に入学した経済学部生：第 1 学期に開講された「統計入門Ⅰ」の単位を取得した場合、自由選択科目（昼間）として扱われる。この科目「統計入門Ⅱ」（2 単位）の単位は「経済経営統計入門」（2 単位）の単位として読み替えになる。
- 平成 24 年度以降に入学した経済学部生：この科目「統計入門Ⅱ」は経済学科専門基礎科目（昼間）として扱われる。
- 経済学部以外の学生：履修登録前に必ず担当教員（北條）に相談すること。基本的には自身の所属学部で開講される統計科目か、G コードの統計科目を履修すること。

オフィス・アワー：火曜日 16:25-17:55, 事前に電子メールで連絡すること

授業概要：この授業は、主に経済学部の 1~2 年生を対象として、統計学の基礎を学ぶ授業である。内容は第 1 学期に開講された統計入門Ⅰの続きである。

統計学の考え方を身につけることは、経済学の学習に不可欠であるだけでなく、さまざまな社会・経済現象の特徴や因果関係を考察することにも役立つ。また、情報化が進む現代社会においては、統計的な考え方を身につけた学生が必要とされていることは言うまでもない。この授業と第 1 学期に開講された統計入門Ⅰを合わせて履修することによって、統計学の基礎を身につけることができる。

授業目的（到達目標）：

- 統計学の考え方を理解し説明することができる
- 標本と母集団の関係を理解し説明することができる
- 標本調査と標本分布の特徴を理解し説明することができる
- 点推定と区間推定を理解し説明することができる
- 推定量の望ましさについて理解し説明することができる
- 仮説検定について理解し説明することができる

前提履修科目：

- 第1学期に開講された統計入門Ⅰの内容を理解していること
- 経済学部生で数学入門の履修対象者は、数学入門を履修済であること

教科書：大屋幸輔（著）『コア・テキスト 統計学』第2版，新世社，2012年

参考書：鳥居泰彦（著）『はじめての統計学』1994年，日本経済新聞社

授業に持参するもの：

- ① スクリーンに PowerPoint のスライドを映しながら授業を進める。スライドの白黒縮小版を毎回の授業時に配布する。スライドのファイル（PDF 形式）を以下の URL にアップロードするので、カラーで資料を見たい人、大きな資料が必要な人は各自でダウンロードすること。
<http://www.econ.niigata-u.ac.jp/~hojo/l.html>
- ② 電卓（平方根を計算できるもの）。授業では携帯電話の電卓機能を使用してもよいが、期末試験では携帯電話を使用できないので、必ず電卓を用意しておくこと。大学が電卓を貸し出すことはない。
- ③ 教科書

成績評価：小テスト，課題，期末試験の3つの得点を合計して成績を算出する。それぞれの配点は以下の通り。

	配点
小テスト	20%
課題	20%
期末試験	60%

授業予定（変更する場合がある）：

授業日	内容	テキスト
10/3	概要説明，第1学期の復習	
10/10	連続確率変数（1）	5.1, 5.5
10/17	連続確率変数（2）	5.2, 5.5
10/24	正規分布（1）	
10/31	正規分布（2）	5.4
11/7	カイ2乗分布，t分布，指数分布（1）	5.4
11/14	カイ2乗分布，t分布，指数分布（2）	5.4
11/21	月曜日授業振替	
11/28	標本調査・標本分布（1）	1.3, 6.1
12/5	標本調査・標本分布（2）	6.2, 6.3
12/12	推定（1）	7.1
12/19	推定（2）	7.1, 7.2
1/9	推定（3）	7.2, 7.3
1/23	仮説検定（1）	8.1, 8.5
1/30	仮説検定（2）	8.2
2/6	仮説検定（3）	8.3

※ いずれかの日の授業中に小テストを実施する。期末試験は期末試験期間中に実施する。

重要な伝達事項：

- この授業では出席をとらない。したがって、授業に出席しなくても、出席点を失うことはない。授業に出席するかしないか、それは受講生の自由である。
- 欠席した授業において小テストが実施された場合、その小テストを後日受験することはできない。ただし、やむを得ない事情の場合は相談に応じるので、できるだけ早く申し出ること。
- いつ小テストを実施するのか、という質問は受け付けない。
- 授業中は携帯電話をマナー・モードに設定するか、電源を切っておくこと。授業中の通話・テキストメッセージの送受信・ゲームは禁止である。
- 授業が終了する前に講義室を退室しない。
- 提出締め切りを過ぎた課題は受け取らない。
- 提出された課題に不正（他人の提出物の丸写し、過度のコピペ）が見つかった場合、悪意の有無にかかわらず厳正に処分する。
- 期末試験において不正行為（カンニング、別人受験）が見つかった場合、経済学部規程に基づいて厳正に処分する。
- 期末試験終了後に、追加のレポートを提出するから単位をください、という申し出をしてくる学生がいる。そのような申し出は一切受け付けない。
- 担当教員は神戸・大阪で生まれ育ったため、関西弁のイントネーションで発音する可能性がある。聞き取れない場合は遠慮せずに申し出ること。
- 受講に際して何らかの支援を必要とする場合は、できるだけ早く申し出ること。